

市長と語る会(令和元年7月18日 西府文化センター会議室)における意見及び市長の回答

No	意見	回答	担当
1	府中は祭りが盛んで各地域に神社がありますが、氏子になっている人は農家が多いと思います。また、消防団や青年会にも農家の人間が入っていることが多く、府中の農業が衰退したら府中らしさが薄れてしまうのではないかと危惧しています。		防災危機管理課
2	相続が発生したら農業をやりたくても畑の面積が減ってしまい、営農できなくなってしまうのではないかと不安に感じています。		公園緑地課
3	ビニールハウスを整備する費用やロゴマークの作成費用等の都の補助事業がありますが、提出資料について市に聞いたところ、担当者が変わっていて十分な対応をしてもらえませんでした。	農業委員会事務局が相談窓口になります。人事異動は避けられないことではありますが、ご迷惑をおかけしました。	経済観光課
4	農家ができる相続対策について公的機関がサポートしてくれる仕組みがあると良いと思います。		広報課 経済観光課
5	ジャム等の加工を自分で手掛けようとすると保健所への申請や加工場の整備等、課題が多い状況にあります。加工場を農家が探す際のサポートがあれば良いと思います。	前回の語る会でも加工場に対する意見は出ましたが、加工場が近くに無いため、地方まで運搬しなくてはならないとの意見がありました。また、加工品を販売することで若い人も購買するきっかけになるとの意見もありました。	経済観光課
6	農業と福祉の連携として、アルバイトとして障害をお持ちの方を雇用できないかと考えています。福祉事務所に個人で話を持ち掛けるのはハードルが高く、市がサポートしていただけると助かります。	働く人にとっても収入が得られるし、地域で連携する仕組みができれば、双方にメリットがあると思います。	障害者福祉課
7	野菜を育てた後の残渣処理について、燃やしてすぐ堆肥にできる時代ではなく、畑に埋め戻して堆肥にしています。年々、野菜を植えるスペースが減ってしまっており、困っています。産業廃棄物として処分すると多額の費用がかかるため、共同で堆肥を作る場所を設けることはできないでしょうか。	若松町に落ち葉を集めて堆肥にする場所がありますが、農作業で出たごみについては、各農家の皆さんが何らかの方法で処分してくださっているため、同じ課題を抱えているのだと思います。	経済観光課

市長と語る会(令和元年7月18日 西府文化センター会議室)における意見及び市長の回答

No	意見	回答	担当
8	野菜の生育環境を制御したハウスを整備すると、良い野菜がたくさんできるのですが、環境制御ハウスの整備に多額の費用がかかります。東京都が1/2の補助金を設けてくれていますが、これに上乘せする形で補助金を出してくれる自治体があります。	財政面で課題もあるため、すぐにやりますとは言えませんが、他の自治体で補助金を出している経緯等を研究します。	経済観光課
9	消防団の活動で、訓練をしていると声が小さいことに気が付き、理由を確認すると近隣住民に迷惑をかけるから大きな声が出せないとのことでした。本番に備えた訓練であるにも関わらず本末転倒だと感じました。		防災危機管理課
10	農業を近隣住民の方が手伝ってくださっています。その方たちとは、旅行に行ったり、食事をしたり自治会の枠を超えてお付き合いをさせていただいています。農業を通じて地域のコミュニケーションが活発になると、未来につながっていくのではないかと思います。	本日、いただいた様々なご意見や要望からできることから着実に進めていきたいと思えます。また、前回の意見にありました商業や工業との連携についても、各界の関係者に意見を伝えていきます。	経済観光課

